

事例 6

交流・居場所

～ 野庭のまんなか ♥ みんなの居場所 ～

【港南区事例】「なごみのば」(平成 28 年 5 月開設)

団体紹介

- ・団体名：野庭地域活動拠点管理運営委員会
- ・活動者の受講年度：平成 25 年度（第 1 期生）
- ・メンバー数：8 名
- ・活動実績：令和元年度 開場日数：216 日 延べ利用数：4,206 人
- ・活用制度：横浜市住宅供給公社 との連携事業



歌声カフェ開設時の様子

活動内容

「なごみのば」のスタートは、野庭団地地区の地区社会福祉協議会会長の林さんが、平成 25 年度の「学び舎ひまわり」に参加したことがきっかけでした。「こんなことを実現させたい」企画を作る課題で団地の中で食事やお茶を楽しんだりできる場所が少なかったため、「誰もが気軽に立ち寄れる居場所づくり」をプランとして企画しました。

学び舎ひまわり卒業から 3 年、様々な関係者と調整し、横浜市住宅供給公社から団地内のショッピングセンターの空き店舗を提供してもらい、平成 28 年 5 月、地域の居場所・活動拠点「なごみのば」が誕生しました。

コロナ以前は、毎週水・金曜日の 10 時～16 時までオープンしており、演奏会や、歌声カフェ、健康体操、手話教室、折り紙カフェなど、様々な催しを実施し多くに方でにぎわっていました。個人での利用だけでなく、サークル等の活動の場としても利用されていました。

令和 2 年度は感染症対策等により、気軽に立ち寄れる居場所としての開設は難しくなりましたが、人との距離が確保できる手話サークル等に利用されていました。現在は、再オープンに向けて準備中です。

活動拠点として「地域の皆さまが気軽に『利用したい』形で利用できるようにしていきたい」そんな思いが詰まった拠点です。